

新しい未来を新しいカタチで

第20期 株主通信

2011年4月1日 ~ 2012年3月31日



SHIP HEALTHCARE HOLDINGS

シップヘルスケアホールディングス株式会社

「生命を守る人の環境づくり」を、これからも。

証券コード: 3360

トップインタビュー

Top Interview



代表取締役社長

古川 國久

グループ理念

S. H. I. P.

Sincere + Humanity + Innovation + PartnerSHIP
(誠実な心) (「情」の心) (革新者の気概) (パートナーシップ精神)

「生命を守る人の環境づくり」を、これからも。
シップヘルスケアグループはいつもYour Companyです。

2012年 Key word

アコーディオン経営を健気に!

『進化』と『成長』はとまらない

Q1

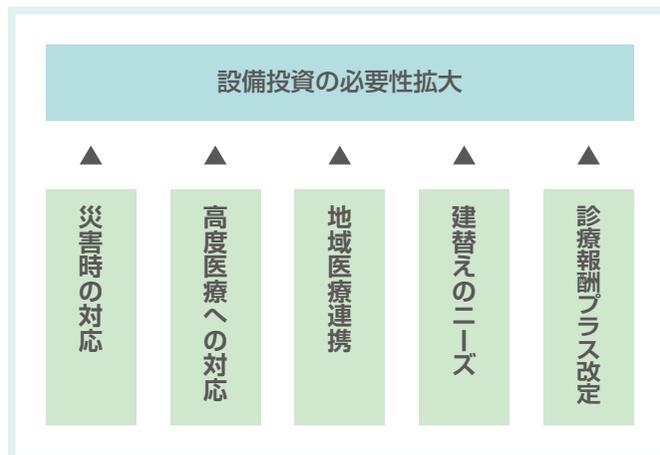
昨年度は震災やタイの洪水、金融不安、円高など、厳しい外部要因が続いておりましたが、会社を取り巻く環境についてお話しください

当社グループの属する医療業界は、医療技術の進歩、地域医療連携強化など、大きく構造が変わる中で、新しい医療環境の構築を進める機運が高まっております。また、昨年3月11日に発生した東日本大震災は、現代医療におけるインフラの整備の大切さと、非常時における維持の難しさを再認識させられる機会となり、医療機関においては災害時における医療体制の整

備に関心が高まっております。さらに、1970～1980年代に大量に建設された大規模病院が建替え時期を迎えるなど、医療機関の設備投資の必要性は今後拡大すると認識しております。この他にも、医療業界を取り巻く課題は多く、病院経営の効率化、医療制度の変化、医師・看護師不足、設備の老朽化など多角的な視点で解決を求められる問題が山積しております。

このような状況は、当社グループの最大の強みであるヘルスケアトータルエンジニアリングの真価が問われる時代と考えております。

■ 業界動向



■ 業績結果と計画値

2013年3月期計画		
売上高 2,100 億円 経常利益 117 億円		
(単位: 百万円)		
	2012年3月期	2011年3月期
売上高	188,839	162,432
営業利益	10,132	7,856
経常利益	11,251	8,850
当期純利益	7,026	5,931

新たなグループ体制のもと 次なる成長を目指す

Q2 | そのような中で、 当期の業績についてはいかがでしたか

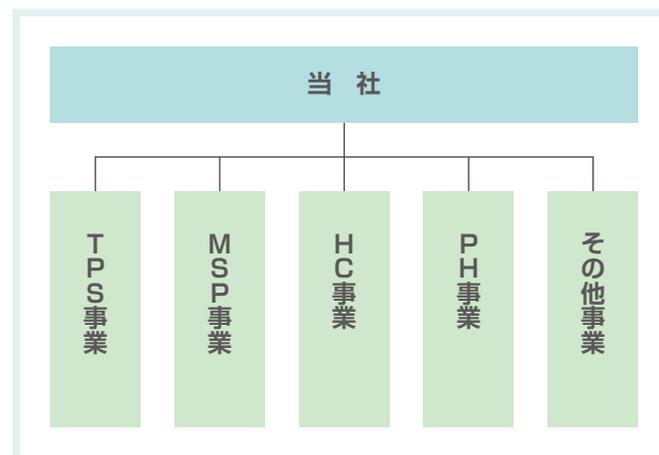
厳しい市場環境の中、大規模病院のリモデルや傘下のメーカー3社製品及び医療消耗品の販売シェアが順調に拡大いたしました。また、調剤薬局及び老人ホーム運営などの事業も堅調に推移した結果、4期連続で過去最高の収益を更新することができました。なお、期中（2011年12月27日）に介護事業を営むアントケアホールディングス株式会社（現グリーンライフ株式会社に吸収合併）及び傘下4社を子会社化し、介護領域をさらに強化することができました。当社グループは、以前より中期目標としてグループ創業20周年である2013年3月期に売上高2,000億円、経常利益100億円の達成を目指してまいりました。当期、業績が過去最高収益を更新したこと及び経常利益目標を1年前倒しで達成したことを受け、目標数値を上方修正し、売上高2,100億円の達成に向けて全力を尽くしてまいります。

Q3 | この度、グループ構造を 大きく変革されましたが、その狙いと、 今後の基本戦略についてお話しください

今、医療業界は大きく変化を続けております。こうした状況の中、当社グループが培ってまいりましたノウハウをさらに融

合すると同時に、拡大する市場の中で、リーディングカンパニーとして迅速な経営判断ができる企業集団づくりが重要と考えております。2009年に持株会社体制へと移行いたしましたが、各セグメントの事業拡大により、セグメント別の連結管理体制の構築が、迅速な経営判断に欠かせないものとなり、グループ全体の意思統一とパワーアップに向けて、この度の再編を実行いたしました。今年のキーワードにもあるアコーディオンのように、必要に応じて蛇腹を拡縮しながら、柔軟で効率のよい経営体制を健気に目指してまいります。

■ 新しいグループ体制



Q4 | 最後に株主の皆様への メッセージをお願いします

当社は、設立以来多くのM&Aや新会社の設立を行ってまいりました。現在、このグループ各社は自立自主のもと業容を拡大し収益を上げておりますが、この度の再編では、これらグループ会社の自主性を保ちながら、各セグメント間でさらにシナジー効果が得られる体制の構築を目指しました。

ストックビジネスとして拡大するメディカルサプライ事業も、2013年3月期は1,000億円の売上高を目指す規模まで達するとともに、メーカー系事業も急速に伸びてきております。

こうした経営基盤をもとに各セグメントの力をさらに拡充し、新たな分野へと活躍の場を広げ、これからも「生命を守る人の環境づくり」を実践してまいります。

なお、配当につきましては過去最高収益を達成するとともに、創業20周年を迎えることから、1株当たり、記念配当5円を含み35円に増額いたしました。

トピックス

Topics

ヘルスケア事業の拡充を目指す アントケアグループのM&Aについて

「都心タイプと地域密着型の融合」

当社グループの介護事業は、現在関西地区を中心に大型施設を展開しておりますが、高齢社会を迎えた日本において、この事業は成長が期待できる分野でございます。

このため当事業のさらなる事業拡大に向けて、旧アントケアグループのM&A及びグリーンライフ株式会社へ同社を吸収合併いたしました。同社は、関東地区を中心に日本全国で老人ホーム、グループホームなど53施設を展開しているグループです。この度のM&Aにより、当社グループの持つ都心タイプの大型施設の運営・経営ノウハウと同社グループの持つ地域密着型中小介護施設のノウハウを融合させ、全国展開を確実に進めると同時に、高付加価値のある介護事業を推進してまいります。



アントケアホールディングス(株) 吸収合併後の グリーンライフ(株)

■ 会社概要(合併後) (2012年3月31日現在)

商号	グリーンライフ(株)
事業内容	老人ホーム・グループホーム等を 全国で展開
資本金	4億2,455万円
代表者	倉垣 正昭
施設数	59施設(定員3,617名)
傘下4社	(株)メディスコーポレーション(1990年6月設立) (株)ケアリンク(2000年7月設立) (株)ケアフレンド(1996年7月設立) シーズライフケア(株)(2003年7月設立)

お客様との信頼関係を築き上げる Mashup Studioリニューアル



「お客様の“想像”を“創造”する」

Mashup Studioはリニューアルオープン以降、お客様に好評いただき多くの方が来場されております。以前のスキルシミュレーションセンターでは「モノ」を確認・決定いただく場としては有効に活用してはりましたが、Mashup Studioでは、サイバーとリアルな場を使って、病院づくりのどのタイミングでも導入前の医療設備・機器のイメージを、より具体的に体感していただける施設に進化いたしました。



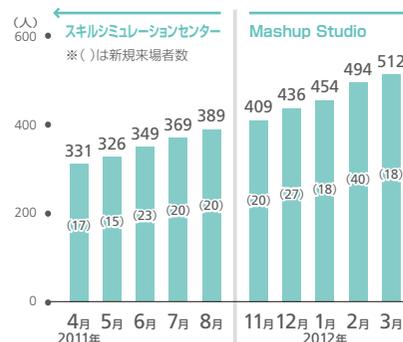
■ 4F サイバーシミュレーションフロア

3Dシミュレーターを活用し、寸法や色、設備機器の種類や位置など、リアルタイムのシミュレーションを可能にしております。導入前に医療環境の設備・機器のイメージをより深めていただけます。

■ 5F リアルシミュレーションフロア

将来の手術環境変化にフレキシブルに対応できる「FLexDOCK」をはじめ、輻射空調式手術システム「コンフォート・コンダクター」、必要な機能をパッケージ化することで、機械室床面積を削減することが可能な空気供給ユニット、吸引供給ユニットなど最新設備をご体感いただけます。

■ 来場者数の推移(累計)



■ サイバーシミュレーション
設備配置、色など空間イメージをシミュレートが可能です。



■ 手術室空間

理想とする治療環境を提案しています。

グループ各社の力を結集し
ヘルスケアトータルエンジニアリングで応える

「日本の地域医療を、もっと強く」



この度、一世紀以上の歴史を持ち、伊勢の地の医療を支えてきた「伊勢赤十字病院」の移転新築を当社グループでサポートいたしました。近年の地域中核病院は、大きく移り変わる地域医療の枠組みの中で、今まで以上に多くのことが求められてきております。

このような状況の中で、「伊勢赤十字病院」では、病院機能の強化に向けて、4疾病（ガン・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）の診療環境整備や、5事業（救急医療・災害時医療・へき地医療・周産期医療・小児救急を含めた小児医療）の病院機能の向上を行いました。また、変化する医療環境に基づき、患者にも医療従事者にも優しい「マグネットホスピタル」をスローガンに、総合的な患者支援機能の充実と医療従事者が良質な医療を提供できる環境を整えております。加えて地域災害拠点として、免震構造、浸水災害対策、非常用発電機、災害時備蓄などの整備及びヘリポート基地を建設し、従来以上に災害への備えを強化いたしました。

当社グループでは、これまでTPS（トータルバックシステム）事業・MSP（メディカルサプライ）事業を通じて数多くの病院リニューアル、新築のサポート、病院経営の効率化を手掛けてまいりました。これからの地域医療を支える中核病院には、何が求められるのか。また、地域の特徴、各病院の要請にどう応えていくのか。大きな視点と細部にわたるきめ細やかな解決手段で、これからも「生命を守る人の環境づくり」をサポートしてまいります。

人々の住まう環境への配慮を大切に
ボランティア活動を積極的に実施

「社会と共に歩み続ける」

当社グループは「生命を守る人の環境づくり」を経営理念に掲げ、事業を通じての社会貢献を目指していくと同時に、企業市民として、環境保全・保護などの社会貢献活動にも積極的に参加しております。

大阪本社のすぐ横にある竹林や歩道が、長年の活動の末にきれいに整備されました。特に3年前はうっそうと茂っていた竹林は、年3回あるボランティアデーでの社員の手入れや、近隣の有志ボランティアによって見違えるほど姿を変えました。

当社グループでは、今後も有志の皆さまと協力し、このような活動を継続してまいります。

Before

竹林は、3年前までうっそうと茂っていました。



After

長年のボランティア活動により、竹林を綺麗に整備しています。

Activities

ボランティアデーなどを利用し、地域の皆さまと協力して歩道等の清掃作業を実施しています。



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

	当 期 2012年3月31日現在	前 期 2011年3月31日現在	前期比 増減額
【資産の部】			
流動資産	82,460	79,294	3,165
現金及び預金	15,268	22,767	△ 7,499
受取手形及び売掛金	51,737	41,688	10,048
商品及び製品	6,982	5,858	1,123
仕掛品	1,493	1,284	208
原材料及び貯蔵品	774	901	△ 127
繰延税金資産	1,322	1,313	8
短期貸付金	800	659	141
その他	4,250	4,957	△ 707
貸倒引当金	△ 169	△ 138	△ 31
固定資産	47,528	37,527	10,001
有形固定資産	26,753	23,097	3,655
建物及び構築物	8,009	6,818	1,190
機械装置及び運搬具	132	169	△ 37
土地	8,082	5,892	2,190
貸与資産	51	57	△ 6
賃貸不動産	8,936	9,066	△ 129
その他	1,541	1,092	448
無形固定資産	7,454	1,558	5,896
のれん	6,972	1,087	5,885
その他	481	470	10
投資その他の資産	13,321	12,872	448
投資有価証券	2,366	3,221	△ 854
長期貸付金	6,596	7,142	△ 546
繰延税金資産	1,058	784	274
破産更生債権等	203	250	△ 46
差入保証金	4,113	2,499	1,613
その他	961	1,011	△ 49
貸倒引当金	△ 1,979	△ 2,037	58
資産合計	129,989	116,822	13,167

(単位：百万円)

	当 期 2012年3月31日現在	前 期 2011年3月31日現在	前期比 増減額
【負債の部】			
流動負債	67,937	60,721	7,215
支払手形及び買掛金	49,819	42,604	7,215
短期借入金	1,615	2,600	△ 985
1年内返済予定の長期借入金	3,919	6,386	△ 2,467
未払法人税等	1,981	1,585	396
繰延税金負債	3	17	△ 13
賞与引当金	1,302	1,012	290
工事損失引当金	22	—	22
その他	9,272	6,515	2,757
固定負債	26,796	26,065	730
社債	3,108	3,942	△ 834
長期借入金	19,369	18,461	908
退職給付引当金	1,885	1,703	181
繰延税金負債	234	916	△ 682
資産除去債務	167	65	102
その他	2,031	976	1,055
負債合計	94,733	86,787	7,946
【純資産の部】			
株主資本	34,352	28,522	5,830
資本金	5,667	5,667	—
資本剰余金	10,036	10,036	—
利益剰余金	18,649	12,819	5,830
自己株式	△ 1	△ 1	—
その他の包括利益累計額	386	1,147	△ 761
その他有価証券評価差額金	383	1,160	△ 776
為替換算調整勘定	2	△ 12	14
少数株主持分	517	365	151
純資産合計	35,256	30,035	5,220
負債純資産合計	129,989	116,822	13,167

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当 期 2011年4月 1日～ 2012年3月31日	前 期 2010年4月 1日～ 2011年3月31日	前期比 増減額
売上高	188,839	162,432	26,406
売上原価	161,759	139,262	22,496
売上総利益	27,080	23,170	3,909
販売費及び一般管理費	16,947	15,314	1,633
営業利益	10,132	7,856	2,276
営業外収益	1,651	1,644	7
営業外費用	532	650	△ 117
経常利益	11,251	8,850	2,401
特別利益	163	389	△ 225
特別損失	315	1,100	△ 784
税金等調整前当期純利益	11,100	8,139	2,960
法人税、住民税及び事業税	3,330	2,474	855
法人税等調整額	571	△ 400	972
少数株主損益調整前当期純利益	7,198	6,065	1,132
少数株主利益	171	134	37
当期純利益	7,026	5,931	1,095

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当 期 2011年4月 1日～ 2012年3月31日	前 期 2010年4月 1日～ 2011年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,827	16,818
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,988	△ 551
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,215	△ 5,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 7,379	11,155
現金及び現金同等物の期首残高	21,750	10,485
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	108
現金及び現金同等物の期末残高	14,371	21,750

業績の概要

Outline of Business Results

主な経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位：百万円)

	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3(予想)
売上高	105,871	118,604	140,009	162,432	188,839	210,000
営業利益	2,979	3,625	5,700	7,856	10,132	11,000
経常利益	3,045	3,761	6,142	8,850	11,251	11,750
当期純利益(△純損失)	△3,767	2,053	3,154	5,931	7,026	7,250
総資産	107,317	101,573	114,619	116,822	129,989	—
純資産	21,202	23,534	24,509	30,035	35,256	—

セグメント情報 (2011年4月1日～2012年3月31日)

トータルパックシステム事業

トータルパックシステム事業におきましては、プロジェクト案件が追加ニーズ等で当初予算を上回り、既存得意先における機器更新需要も順調に推移いたしました。メーカー系における手術室・ICU等のユニットや、2011年グッドデザイン金賞を受賞した無影灯の販売が好調に推移したこと、特殊浴槽の販売が市場ニーズを背景に好調に積み上がったこと、リハビリ機器の販売やメンテナンス件数が増加したこと等から順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は66,934百万円(前期比14.8%増)、営業利益は6,147百万円(同26.7%増)となりました。

メディカルサブライ事業

メディカルサブライ事業におきましては、一般診療材料の販売数量増加と効率化が進み順調に推移いたしました。また、専門領域における商品取扱量を拡大させるとともに、院内SPD受託件数の増加、院外SPDにおける新規ロジセンター立ち上げ等により販売数量についても増加いたしました。

以上の結果、売上高は92,583百万円(前期比12.0%増)、営業利益は1,845百万円(同26.8%増)となりました。

ヘルスケア事業

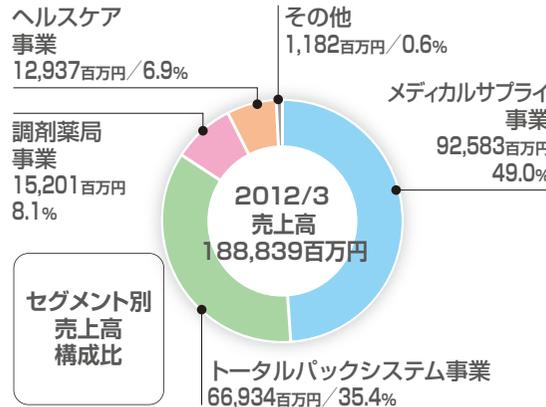
ヘルスケア事業におきましては、アントケアホールディングス(株)(現グリーンライフ(株)に吸収合併)及び傘下4社を買収したことで介護施設数が増加し(59施設、定員3,617名、入居率89.1%)、業績につきましてもほぼ計画通り推移いたしました。また、食事提供サービス事業も大型の医療施設をはじめとする新たな契約先を獲得するとともに国立循環器病研究センターとのライセンス契約による減塩弁当「国循弁当」の販売も始まり、順調に推移いたしました。また、小規模多機能施設の企画やリハビリ支援事業の新規展開等新たな試みを進めることができました。

以上の結果、売上高は12,937百万円(前期比68.3%増)、営業利益は1,178百万円(同23.7%増)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、来局患者が堅調に推移するとともに、新規6店舗の出店に加え薬局3店舗の買収により合計9店舗の増加となりました。また、(株)仙台調剤が昨年の震災の影響で13カ月決算となったこと、既存店舗においてジェネリック医薬品の処方や技術料加算の増加、在宅医療サービスへの積極的な取り組み等から、順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は15,201百万円(前期比20.3%増)、営業利益は1,756百万円(同28.5%増)となりました。



その他

その他におきましては、動物病院事業において提携動物病院からの画像診断依頼等により高度画像診断が増加するとともに、予防接種等による顧客数も安定いたしました。さらに、グループ内メーカーとの共同開発によるリハビリ機器を活用した動物のリハビリ等新しい試みにも挑戦いたしました。また、理化学機器の販売事業におきましても順調に推移したことから、当初計画通りに推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,182百万円(前期比3.9%増)、営業利益は143百万円(同17.8%増)となりました。

株式関連情報

Stock Information

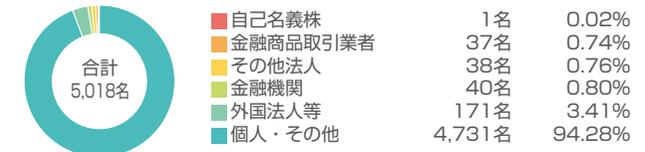
(2012年3月31日現在)

株式の状況

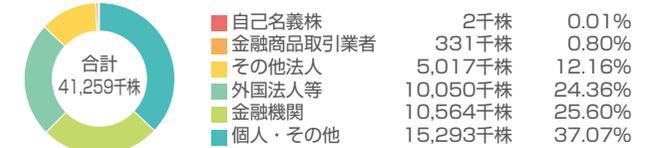
発行可能株式総数	64,000千株
発行済株式総数	41,259千株
株主数	5,018名

株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



株式分布状況(株式数別)



※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

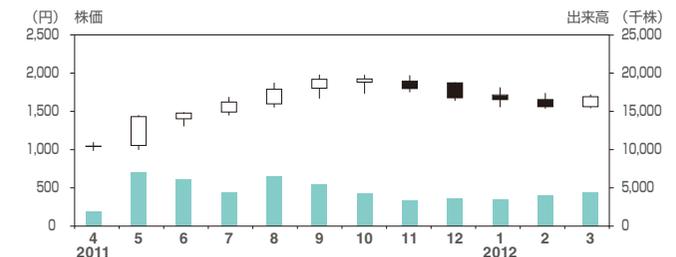
大株主の状況

[保有株式数] [保有割合]

有限会社ココロー	3,381千株	8.19%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,766千株	6.70%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,181千株	5.28%
古川國久	1,988千株	4.82%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,751千株	4.24%
古川幸一郎	1,585千株	3.84%
春日興産合同会社	1,400千株	3.39%
増田貞満	1,232千株	2.98%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	989千株	2.39%
メロンバンクエヌエーアズエージェントフォーイッツクライアントメロンオムニバスユーエスベンション	900千株	2.18%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

株価・出来高の推移



会社情報

会社概要 (2012年3月31日現在)

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
設立 1992年8月
代表取締役社長 古川 國久
資本金 56億6,708万円
決算月 3月
従業員数 連結3,156名(正社員)
本社所在地 〒565-0853
大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL : 06-6369-0130
FAX : 06-6369-3191

役員 (2012年6月28日現在)

代表取締役社長	古川 國久	久隆
取締役副社長	小川 宏	順太
専務取締役	増田 浩一	一行
専務取締役	大橋 宏	裕司
取締役	沖本 林	山賢
取締役	小林 裕	山賢
取締役	横山 裕	山賢
取締役	細川 賢	山賢
取締役	岩本 義昭	山賢
社外取締役 (独立役員)	和田 亮	山賢
常勤監査役	前田 靖昌	山賢
非常勤監査役	竹原 昌也	山賢
社外監査役	水野 博	山賢
社外監査役	大山 博	山賢

株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
期末配当金受領 3月31日
株主確定日 3月31日
定時株主総会 毎年6月中
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 (旧 クレノンホスピタルサプライ (株) の株主様)
みずほ信託銀行株式会社 (旧 (株) セトラルユニの株主様)
同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
上場証券取引所 東京証券取引所
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行並びにみずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



IR Info ▶ In-depth Company Report Link to Shared Research

For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc. Please check [http://www.sharedresearch.jp/en/Ship_Healthcare_Holdings\(3360\)](http://www.sharedresearch.jp/en/Ship_Healthcare_Holdings(3360)) to view the report.

アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまからいただいたご意見を誠実に受け止め、今後の経営及びIR活動に活かしてまいりたいと考えております。皆さまからの貴重なご意見をお待ちしております。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

Q1 当社株式をいつ頃ご購入されましたか?

- ①1ヶ月以内
- ②2～5ヶ月前
- ③6ヶ月以上前
- ④1年以上前
- ⑤株式上場時(2005年2月)

Q2 当社株式の今後の保有方針をお教えください。

- ①中長期的に保有する
- ②短期で考えている
- ③買い増しする
- ④投資収益に応じて売却する
- ⑤未定

Q3 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか? (上位3点をお選びください)

- ①規模の拡大
- ②ビジネスモデルの強化
- ③経営の効率化
- ④収益性
- ⑤安定性
- ⑥株主政策の強化
- ⑦その他()

Q4 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われますか?

- ①株主通信
- ②ホームページ
- ③株主総会
- ④個人投資家向け説明会の開催
- ⑤その他()

Q5 今回の株主通信でご興味を持たれた内容は何ですか?

- ①トップインタビュー
- ②トピックス
- ③連結財務諸表
- ④業績の概要
- ⑤株式関連情報及び会社情報

Q6 今回の株主通信をどのようにご評価されますか?

- ①大変満足している
- ②ある程度満足している
- ③普通
- ④あまり満足していない
- ⑤不満である

Q7 その他、ご意見・要望等をご自由に記入ください。

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで...

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp>



SHIP HEALTHCARE HOLDINGS